

Design Brief

Project Title: A-Lab Visual Identity (VI) Design Revamp Competition

Facility: A-Lab (Amagasaki City)

Client contact: Tetsuya Goto, Out Of Office
gotoatwork@gmail.com

Budget: 100,000 JPY for participation fee (including tax)

Overview: A-Lab, a municipal art center in Amagasaki, Hyogo Prefecture, Japan was established in 2015. In order to celebrate its 5th anniversary and to gain more publicity, we will hold a design competition to examine the possibilities for better visual identity.

Objectives: A-Lab was designed to give young artists an opportunity to show their work. Another aim of the center is to provide young people, including children, a chance to encounter the arts free of charge. Therefore, the visual identity of A-Lab should express a challenging, open and friendly attitude.

Target Audiences: 1) Young people including elementary school students.
2) People working in the art world

Scope: Visual identity (i.e., logotype)

Format: 1) Visual identity in real usage (signs, displays, etc.)
2) Sketches showing the creative process
3) Exhibition posters that uses the visual identity proposition
4) Designer's portfolio that are relevant to this project

Success Criteria: We will hold an exhibition to display the visual identity in A-Lab, and decide which works are the best. Judgement will be made by the client and audience.

Schedule: Design proposal to be completed by 31 January 2020.
Exhibits to be delivered to A-Lab by 14 February 2020.
Winner to be selected by 30 March 2020.

Signature:



Name:
Tetsuya Goto

Date:
6 January, 2020

2020年2月22日(土)-3月30日(月)

@ あまらぶA-Lab

アートセンターの「ヴィジュアル・アイデンティティ」って何？

あまらぶアートラボのロゴを勝手に書き換えるデザイン展！

キキ

鈴木哲生
Tezuo Suzuki (Japan)

Studio SSS (The Netherlands)
Gregory Ambros (France/Japan)
Kontepunkt (Denmark)

アイデンティティ

アイデンティティのキキ

2020年2月22日(土)-3月30日(月) @ あまらぶA-Lab

あまらぶA-Labの架空のヴィジュアルアイデンティティ(VI)を、ヨーロッパと日本のデザイナー3組が勝手にデザインする展覧会。アートセンター／美術館のVIを通じて、デザイナーがどのように課題に取り組んでいるのかを考えます。

グレゴリー・アンボスと鈴木哲生

Grégory Ambos + Tezzo Suzuki

グレゴリー・アンボス ロンドンを拠点とするデザイン事務所Zak Groupの元パートナー兼クリエイティブディレクター。シカゴ建築ビエンナーレ、台北ビエンナーレ、ベルリンビエンナーレ、リスボン建築トリエンナーレなどの大規模VI、ならびに、出版物、展示会などを手がけてきた。現在は、フランスと日本を拠点に活動している。



台北ビエンナーレ2012 VI Image: © Zak Group

コントラプンクト

Kontrapunkt

北欧を代表するデザインエージェンシー。コペンハーゲンと東京のオフィスに、60人以上のデザイン、ブランディングのエキスパートを抱える。日本でも積極的に活動を展開。これまでに資生堂S/PARKやTASAKI、東大阪市などのVIや独自書体を手がけている。

<https://www.kontrapunkt.co.jp/>



資生堂グローバルイノベーションセンターS/PARK VI

スタジオ・スパス

Studio Spass

オランダ・ロッテルダムのデザインスタジオ。プリントメディア、ブランディング、ウェブ、そして空間デザインに至るまで幅広い領域で活動している。Jaron KorvinusとDaan Mensによって2008年設立。精緻なアプローチに遊び心あふれる感覚を組み合わせたデザインが特徴。

www.studiospass.com



ソウル国際タイポグラフィビエンナーレTypoJanchi 2015出展作品

鈴木 哲生 グラフィックデザイナー。1989年神奈川県生まれ。東京芸大デザイン科卒業後、隈研吾建築都市設計事務所を経て、2015年にKABKデン・ハーグ王立芸術アカデミー タイプ&メディア修士課程修了。

tezzosuzuki.com



カレンダー-19

アートディレクター | 後藤 哲也 | Tetsuya Goto

近畿大学准教授／大阪芸術大学客員教授。グラフィックデザインの実践と研究に軸足を置きながら、アジア～欧州のデザイナーとのネットワークの構築にも取り組んでいる。著書に『YELLOW PAGES』(誠文堂新光社)、展覧会企画に「FIKRA GRAPHIC DESIGN BIENNIAL 01」、「GRAPHIC WEST 7: YELLOW PAGES」、「グラフィズム断章:もうひとつのデザイン史」などがある。 www.outofoffice.jp

特別展示
香りの
アイデンティティ
協力: @aroma

近畿大学文芸学部文化デザイン学科感性学系岩城覚久+深津恵(アットアロマ株式会社)共同ゼミの学生(五十嵐 真子、高井 由実菜、山内 梓早、坂上 晴香)がアットアロマ株式会社と協働して、A-Labの「香りのアイデンティティ」をデザイン。会場内にその香りを「展示」します。

サイン制作・設営協力

看太郎(廣田 碧) | Midori Hirota

イベント

3月14日(土)

14:00-15:30

スピーカー: 後藤 哲也、
西 まどか(アイデア編集長)

定員: 30名

参加費無料

ワークショップ

Kontrapunkt

2月29日(土)

13:30-15:00(予定)

講師: マーカス・マヘチャ
(コントラプンクト)

※いずれも参加費無料

Grégory Ambos + Tezzo Suzuki

3月15日(日)

10:00-17:00(予定)

講師: 鈴木哲生
グレゴリー・アンボス



あまらぶ アートラボ A-Lab

A-Lab Exhibition Vol. 22

入場料無料 | 火曜日休館

月・水～金: 午前11時～午後7時

土・日・祝日: 午前10時～午後6時

主催 尼崎市

問合先 市役所文化振興担当

☎ 06 6489 6385

FAX 06 6489 6702

(イベント開催時はA-Labまで)

☎/FAX 06 7163 7108

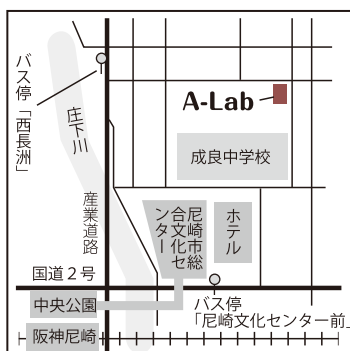
所在地 尼崎市西長洲町2-33-1

尼崎市西長洲町2丁目33-1
(一般用駐車場はありません)

【阪神尼崎駅から】北東へ徒歩15分、または、阪神バス11・22・23系統 阪急園田行き、阪急バス 阪急塚口行き「西長洲」下車 東へ徒歩5分
【JR尼崎駅から】阪神バス11・23系統で「西長洲」下車 東へ徒歩5分
【阪急塚口駅から】阪急バスで「西長洲」下車 東へ徒歩5分

www.ama-a-lab.com

[@amalove.a.lab](https://www.facebook.com/ama.a.lab)



助成



令和元年度
文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

協力

